

交流自治体間の連携強化を確認

14日、小千谷市総合産業会館サンプラザで、杉並区と区の8つの交流自治体の首長が集まり、自治体間の連携による防災力の向上や地方との共存共栄に向けた取り組みなどが話し合われました。(参加自治体：杉並区、名寄市、南相馬市、北塩原村、東吾妻町、小千谷市、青梅市、忍野村、南伊豆町)

■第四回地方創生・交流自治体連携フォーラム

このフォーラムは、平成27年7月、杉並区の交流自治体間の広域連携や都市と地方がともに輝く地方創生に向けた取り組みを行うため設置されました。

第四回では、まずは南伊豆町長から、杉並区と南伊豆町が連携し、来年3月にオープンを控えた特別養護老人ホーム「(仮称)エクレシア南伊豆」の概要や南伊豆町が取り組んでいる「お試し移住」「(仮称)南伊豆版生涯活躍のまちプロジェクト」などが報告されました。



続いては、東京大学名誉教授の大森彌氏を進行役に、9自治体の首長らが「2020年を見据えて、地域の魅力を活かす」をテーマに議論が行われました。2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国内外から、多くの人の流れが予想され、地域の魅力を知ってもらうチャンスとなっています。そのチャンスを生かすためには、地域の魅力を活かすことが必要で、それも子どもたちのつながりを深める農業やスポーツ体験など、思い出深くする交流事業を続けていくことが大切との意見が出されました。そのために、交流自治体の持つ強みを持ち寄りながら、こうした交流事業に取り組んでいくことが確認されました。

■第11回自治体スクラム支援会議

東日本大震災では、杉並区と災害時相互援助協定を締結していた福島県南相馬市に対し、南相馬市とは直接交流関係にない群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市、北海道名寄市が杉並区の呼びかけにより支援に加わりました。これらの自治体は、杉並区と災害協定を締結している関係で、交流自治体の交流自治体という関係ですが、ともにスクラムを組んで支援を行うため、平成23年4月8日に「自治体スクラム支援会議」を立ち上げました。その後、東京都青梅市と福島県北塩原村が加わり7つの自治体に、さらに今回は、忍野村と南伊豆町が加わり、迅速で的確な災害時の支援・受援体制がより強固となりました。

【問い合わせ先】

区民生活部地域活性化推進担当：03-3312-2111 内線3771